

木島平村放送番組審議会 会議録

◇と き：平成28年3月25日（金） 午後6時から午後7時30分

◇ところ：役場第3会議室

◇出席者

審議会委員 宮澤佑介 会長、大崎森雄 職務代理、湯本貴美、
嘉部美津子、高木和則

木島平村 内藤副村長、佐藤総務課長、岡田、穉澤

ふう太企画 西谷、島崎

◇会議の記録

開会

- 1 あいさつ 内藤副村長
宮澤会長

※以下、会長が進行しました。

- 2 ふう太ネットの概要について（説明：岡田）

3 会議事項

(1) 自主放送番組について（以下、説明：西谷）

- ① 現在の番組構成
- ② 番組視聴 用意した番組を視聴
- ③ 意見交換 下記に記載

(2) その他

なし

③ 意見交換（要約を記載しました）

宮澤会長

○視聴率はどうなっていますか。

西谷：何年か前にアンケートを実施した時に、よく見る番組はニュース番組や子供の出るような番組をよく見ているという内容でした。

宮澤会長

○行政が推す番組など何か制作方針があるのですか。

西谷：行政局なので内容が堅くなりがちであるため、なるべく住民参加による柔らかい内容にし、堅苦しさを取り除くようにしています。

周りのケーブルテレビと協力して民放に近いものを制作しています。

ケーブル局同士が同時中継をして1つの番組を制作することもあります。その中で「長野県ご当地〇〇対決」という番組では、各局が地域の自慢を放送しました。

その番組が日本ケーブルテレビ連盟から賞をいただきました。

今後も、いろいろな局と組み合わせて楽しい番組を制作していきます。

宮澤会長

○調布市では、どの位番組を放送してもらっているのか。

西谷：定期的には放送をしていません。2カ月に1度程度です。

調布市は、J-COMが運営しています。規模は普通の民放と同じ規模ですので、ふう太で制作した番組を多くは放送できません。

宮澤会長

○私は芸文協で選出されていますので、村のいいところをもっと引き出して紹介していただきたいと思います。

西谷：「じよんのびひろば」の中で村の達人大辞典として紹介していましたが、誰かを紹介していただければ、又番組で取り上げていきたいと思います。

大崎職務代理

○コトバトンのように、村内の会社を紹介する番組であれば、ネタが尽きないのではないか。広告になるから駄目ですか。

西谷：検討したいと思います。

高木委員

○トライウォークの初期の頃は楽しみでしたがネタが尽きてきているように思われる。

各局がPRする番組について、事実かどうか確認はしていますか。スキー場の3月の雪の少ない時に、スキー場開きの映像が放送されており、タイムリーでないのが残念だと思います。

西谷：一度撮った映像を何回も使用するのでそうなってしまいます。

湯本委員

○若い世代はふう太ネットに入っていない。子供や甥っ子など居ないと、若い世代では関係ないので見ないと思います。

又、加入負担金が幾ら掛かるのかも分からないので、周知をして欲しい。

岡田：広報を行います。

嘉部委員

○ふう太ネットが同じ番組を何回でも繰り返す、映像に映りたくない人も多いので、顔がキャラクター又はボカシになるような加工は出来ないのか。

また、音声放送のみの時代に、お話し広場として本を読み聞かせる番組がありまし

た。ふう太ネットで、また紙芝居を映してお話が出来ないのか。

島崎：開局当初は行政広報という側面が大きく申し出を断っていました。現在は自主放送枠が出来てコトバトンなどの柔らかい番組を制作していますので出来ないことはありません。

嘉部委員

○1日何回も同じ放送を繰り返すのであれば、風景の映像でもいいと思います。

西谷：1つの放送を制作するには編集に時間が掛かるため沢山の番組ができません。又、行政放送という側面もある為、何回も同じ番組を放送することが多くなります。

大崎職務代理

○同じ番組が何度も放送されてつまらない、多彩な番組が出来ないのか。ふう太ネットを観なくなってしまう。

西谷：自然劇場きじま平が15分番組で何回も放送されます。行政放送の重要な放送はいつでも視聴できるように何回も放送をしています。

内藤副村長：お昼の放送で、番宣をする様にしたらどうだろうか。

嘉部委員

○番組制作の努力は認めています。可能であれば読み聞かせの番組を入れてもらいたい。

ふう太：島崎

○短時間で情報を伝える番組と長時間の番組ではどちらが良いのでしょうか。

大崎職務代理：民放のCM合間にふう太ネットを見てよかったらそのまま見続けるので、番宣などをした方がよいのでは。

ふう太：島崎

○15歳未満の子供がテレビに映ることに本当は承諾が必要ですが、ふう太ネットに映るということはどうでしょうか。

湯本委員：少なくとも子育てサークルの中では、映っていて嫌だという人はいません。

嘉部委員：子育て世代は映っているとうれしい、自分で子どもを映せない、撮り損ねる人もいるので、子ども達を映したいと思う方が多いと思う。

大崎職務代理

○ファームスをもっと取り上げてもいいのではないかと。

西谷：2カ月に1度は取り上げています。今までは起業支援としてファームスのイベントの無料で案内を放送してきましたが、4月からは広告料を貰い放送したいと思います。

以上が意見交換の内容です。